【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第１区分
【発行日】令和5年6月15日(2023.6.15)

【公開番号】特開2023-30088(P2023-30088A)
【公開日】令和5年3月7日(2023.3.7)
【年通号数】公開公報(特許)2023-043
【出願番号】特願2022-204128(P2022-204128)
【国際特許分類】
Ｈ０１Ｂ 11/06(2006.01)
Ｈ０１Ｂ 11/10(2006.01)
Ｈ０１Ｂ 7/00(2006.01)
Ｈ０１Ｂ 7/18(2006.01)
Ｈ０１Ｆ 1/26(2006.01)
Ｈ０１Ｆ 1/37(2006.01)
Ｈ０５Ｋ 9/00(2006.01)
【ＦＩ】
Ｈ０１Ｂ 11/06
Ｈ０１Ｂ 11/10
Ｈ０１Ｂ 7/00 ３０４Ｚ
Ｈ０１Ｂ 7/18 Ｄ
Ｈ０１Ｂ 7/18 Ｈ
Ｈ０１Ｆ 1/26
Ｈ０１Ｆ 1/37
Ｈ０５Ｋ 9/00 Ｌ
Ｈ０５Ｋ 9/00 Ｗ

【手続補正書】
【提出日】令和5年6月7日(2023.6.7)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００４１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００４１】
磁性シース層７においては、絶縁層３との間に上記関係１および関係２を満たす限りにおいて、用いられる有機ポリマーの種類は、特に限定されるものではない。例えば、ポリオレフィンやオレフィン系共重合体等のオレフィン系ポリマー、ポリ塩化ビニル等のハロゲン系ポリマー、各種エンジニアリングプラスチック、エラストマー、ゴム等を用いることができる。有機ポリマーは、１種のみを用いても、混合、積層等により、２種以上を合わせて用いてもよい。後述するように、融点が１００℃以下の有機ポリマーと、融点が１００℃を超える有機ポリマーを混合して用いる形態が特に好ましい。有機ポリマーは、架橋されていてもよく、また、発泡されていてもよい。